

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 楽生縁作成日: 平成 31 年 4 月 5 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議の参加者が固定化し、会議の内容が報告を中心とした画一傾向にあるので、新しい参加者を募り、会議の内容や課題、取り組みを検討し、ホームの運営や業務改善に取り組んでいく。	地域で活躍している有識者や知見者(公民館館長、複数の民生委員、薬剤師、交番警察官等)に参加をお願いし、多様な議題を検討し会議の活性化を図り、ホームの繁栄だけでなく、参加者にとっても知識や情報を得る機会になるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	若手職員の確保と職員の定着に取り組み、これからのグループホームの経営安定のため職員の育成を行う。職員の知識や介護技術向上に取り組み、安定した質の高い介護サービスの提供を目指していく。	職員の経験や習熟度に合わせて、外部研修を交代で受講してもらい、職員一人ひとりの介護技術の向上と意識の高揚を図り、意欲的に働ける職場環境を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。